

大麦管理情報 (第3号)

1 気象経過

- (1) 11月中旬：平均気温は12.1℃（平年差+1.5℃）と平年より高く、降水量は40.5mm（平年比46%）とかなり少なく、日照時間は42.6時間（平年比141%）と平年より多かった。
- (2) 11月5半旬：平均気温は9.3℃（平年差+0.1℃）と平年並み、降水量は28.0mm（平年比68%）と平年並み、日照時間は24.6時間（平年比157%）と平年より多かった。

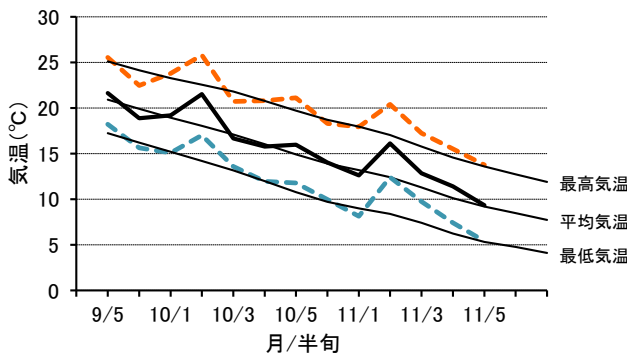


図1 気温の推移 (富山地方気象台)

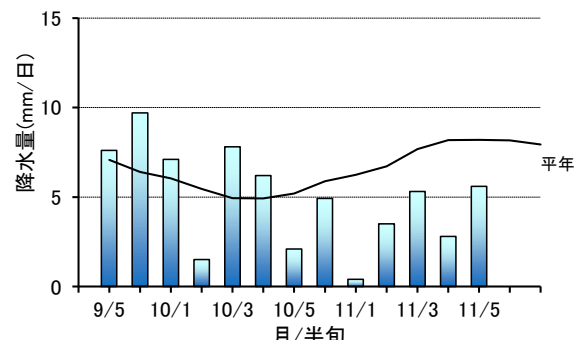


図2 降水量の推移 (富山地方気象台)

2 生育概況

- (1) 葉齢は、30年産及び平年並に進んでいる。
- (2) 草丈は、30年産及び平年よりかなり長くなっている。
- (3) 茎数は、30年産より多く、平年並となっており、目標の越冬前茎数（600～800本/m²）が確保されている。
- (4) 葉色は、30年産及び平年並となっている。

表1 大麦生育観測ほ等調査結果 (11月30日)

(播種様式：ドリル)

	播種日 (月/日)	苗立数 (本/m ²)	草丈 (cm)	茎数		葉齢 (葉)	葉色 (SPAD)	調査 点数
				(本/株)	(本/m ²)			
H31年産	10/8	178	33.1	4.1	707	6.1	37.0	10
H30年産	10/5	197	23.6	3.3	644	6.2	39.1	10
平年	10/6	176	26.6	4.0	704	6.0	37.8	—

注) 平年はH21～30年産の平均。

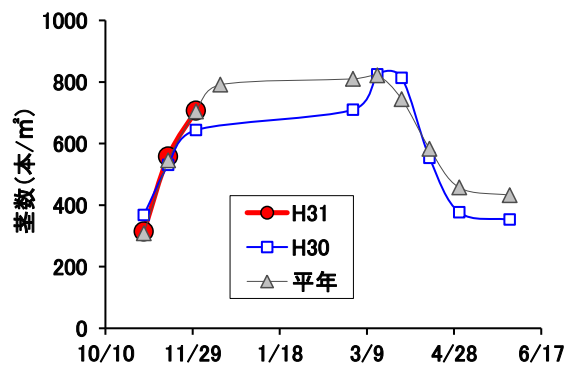


図3 茎数の推移

注) 平年はH21～30年産の平均

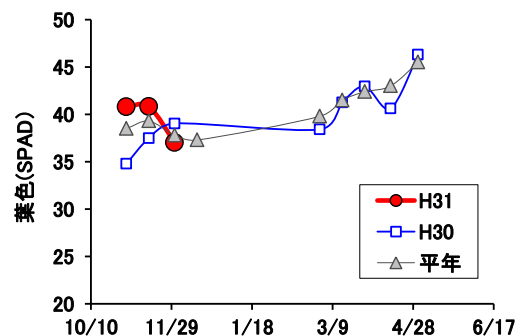


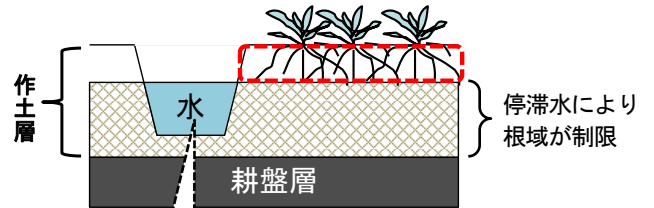
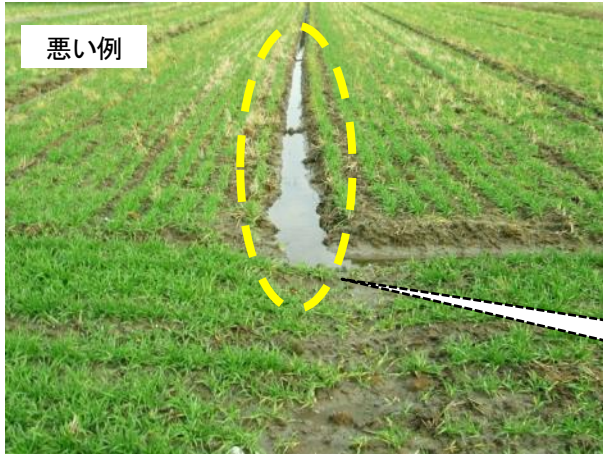
図4 葉色の推移

注) 平年はH21～30年産の平均

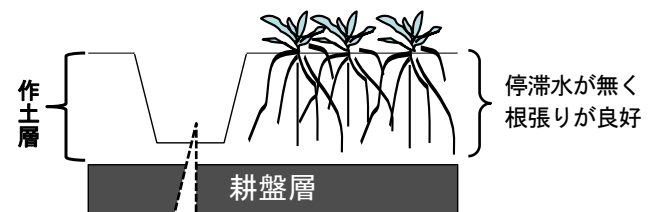
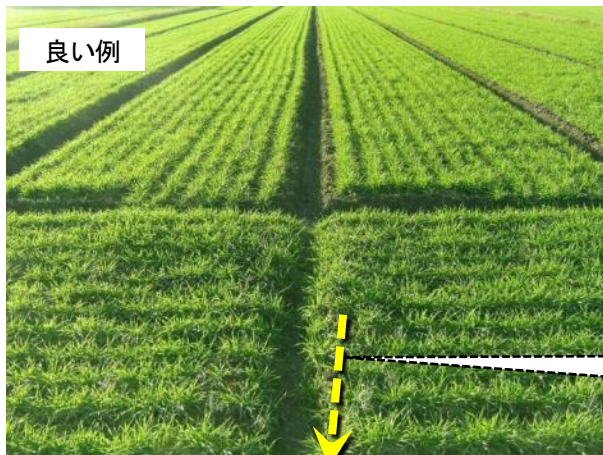
3 当面の技術対策

(1) 排水対策の徹底

- ・ 土壌の乾きが悪く、溝に水が停滞しているなど排水不良となっているほ場が見られる。
- ・ 雨水や雪解け水がほ場内に停滞しないよう、積雪前に、排水溝の手直しを行うとともに、深く掘り下げた排水口への連結を徹底する。



溝に溜まった水を早急にほ場外へ排出する。



溝が排水口に連結され、ほ場内に停滞水がない。

排水口

(2) 分施肥系の年内追肥

- ・ 年内追肥は原則として1回とする。ただし、12月初めの生育が、茎数500本/m²以下で、かつ、葉色がSPAD値で30以下のほ場では、年内2回目追肥として窒素成分で2kg/10a以内を施用する。